



「恍惚」

2010.F50 水彩絵の具

大学三年、21 歳。

唇に興味がありました。隠しきれない粘膜に淫靡な

哀しい色っぽさを感じたのだと思います。

それは梅雨の時期の様でしたので、紫陽花の花を添えました。

生き生きと咲くものではなく、艶を失ったものが似合うのだと思ったのです。

それが恍惚な死を匂わせてくれると思いました。



「もしもし」

2011. 910×910mm/910×910mm 水干・岩絵の具・胡粉

大学四年、22 歳。

震災の年でした。テレビからは「つながろう」という言葉が乱雑に流れてきました。

それを聞いたたびに孤独を感じました。誰もつながってなんていないのに、バカバカしいとも思いました。

女の子は糸電話をもっています。その糸は男の子のイヤホンジャックに接続されています。

二人だけの世界になった時、二人で正常からはずれた時、

ようやく「つながる」という言葉を使っても許されると考えていました。